

アグアスだより

2013年10月号

家庭で「家読書」を楽しみませんか

ここ数年、PISA 調査という言葉が増えました。これは、3年ごとに実施される「国際学習到達度調査」のことです。PISA が特に注目されたのは、2003年です。それまで世界でトップレベルだった日本の子どもたちの成績が大幅にダウンし、その原因が「ゆとり教育」にあるのではないかと大きな議論を引き起こしました。その後、2010年には、学力は「読解力などを中心に改善傾向にある」という報告がなされました。ただ、残念なのは「読書をしない」子どもたちの割合が、44.2%で、他国と比較して高い数値だということです。上海の8%や台湾の17.3%と大きな開きが見られます。また、マンガを読む子が突出して多く、それも気になる点です。勉強が忙しい中学生などは、なかなか本をじっくり読む時間がとれないようです。今年の12月には、PISAの最新の調査結果が公表されます。どのような結果が出るのか、注目したいと思います。

一方、目を日本国内に転じてみますと、今年度の文部科学省「全国学力学習状況調査」の結果が公表されました。本校の成績については、すでにお便りでお知らせした通りです。この調査では、学力テスト以外に、子どもの「生活習慣全般」のアンケートも実施されています。その中で、「1ヶ月に1冊以上本を読む」小学6年生と中学3年生の割合が、地域ごとに集計されていま

す。それによりますと、小学生読書率の全国平均は88.5%、中学生は73.3%です。これまでの調査でも、読書習慣は、学年が進むにつれ減少する傾向がありました。地域別の比較では、読書が盛んな地域は、小学生で鹿児島県が96.7%でトップ。以下、沖縄県、岩手県が上位を占めます。中学生では、秋田県が87.1%。以下、鹿児島県、沖縄県と続きます。全国的に見ると、地方で読書率が高く、都市部で低くなる傾向があります（ちなみに、本校の小6は70%、中3は100%です）。さらに、この調査では、子どもの「生活習慣」との相関も報告されています。驚いたことに、「早寝早起きをして朝食をしっかり食べ、家でよく勉強する地域」では読書率が高く、「長時間ネットやゲームをし、携帯所持率が高く、塾に通う子どもが多い地域」では読書率が低いという結果が出ています。このことから、読書は子どもの生活習慣を測るひとつのパロメーターと言えそうです。

さて、本校には毎週「朝読書」の日があります。その日は朝から、日頃にぎやかな教室が水を打ったように静まりかえり、子どもたちは読書に熱中します。その真剣さには素晴らしいものがあります。海外でいろいろな誘惑が少ない分、気をとられることなく読書に集中できるのかも知れません。このような読書の習慣は、子どもたちの成長に必ずよい効果をもたらすものと考えます。例えば、読書を続けると、語彙が豊富になり、言語での活動が豊かになります。

また、自分とは違った生き方や、考え方にふれ、視野を広げることができます。

かつて、ワールドカップの日本代表でキャプテンを務めた長谷部誠さんは、著書、『心を整える』で、次のように読書の効果について語っています。「読書は自分の考えを進化させてくれる。負けたあとなら、乱れた気持ちを整えてくれる。勝ったあとなら、ふわついた気持ちを抑制してくれる。言葉のセンスを磨く上でも読書は大事だ」。

さて、当地も読書の秋を迎えました。そんな秋の夜長、家族で読書に親しむのはいかがでしょう。学校の「朝読書」の習慣を家庭に広げて、「家読書」を行うという提案です。もしかすると、読書を通して家族の会話も広がり、家庭の団らんがいつそう楽しいものになるかもしれません。

体力テストの結果

体力テストの結果が出ました。調査は7種目で測定し、そのデータを日本の平均と比較しました。その結果、本校では、多くの種目で、日本国内を下まわっていることがわかりました。国内の子どもの体力も、改善傾向とはいえ、依然低い水準ですから、これはかなり厳しい結果です。たとえば「上体おこし」の種目では、小1から中3までの男女17グループ中、11グループが国内を下まわっていました。その割合は、11÷17ですから65%です。ほかの種目では、「長座体前屈」で82%、「反復横跳び」で82%、「シャトルラン」で88%、「50m走」で35%、「立ち幅跳び」で100%、「ソフトボール投げ」で35%、「全種目」では68%が下まわる結果でした。

これはゆゆしき事態です。当初学校では

原因の解明にやっきになりましたが、すぐにそれに意味がないことに気づきました。かりに、当地が高原で空気が薄い、家庭で運動する機会が少ない、とわかったところで、子どもの体力不足の事実には変わりはないからです。世界の多くの日本人学校が、同様の事態に直面しています。赤道直下の学校では、球技も長時間持続できず、水球を行う等の工夫をしています。ほかに、雪と氷に閉じ込められた学校、灼熱の炎天下にある学校、校庭や体育館もない学校、みなそれぞれの学校なりの工夫をしながら、体力づくりに取り組んでいるのです。本校も、今後、体育の授業の見直しや、月2回の“体育集会”を実施することで、体力づくりに取り組む考えです。ただし、こうした体力づくりは、学校だけで行っても効果があがりません。学校・家庭相互の連携により、子どもたちのいつそうの体力向上を図りたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願い致します。

10月 行事予定

- 3日(木) 振替休日
- 5日(土) 午前授業
- 6日(日) 運動会(帰りのバスなし)
- 7日(月) 振替休日
- 8日(火) 運動会片付け、後期開始
- 9日(水) **体育集会**
- 14日(月) 全校朝会、カレーの日
- 21日(月) 全校朝会
- 24日(木) **体育集会**
- 26日(土) 実践報告会(帰りのバスなし)
- 27日(日) サマータイム終了
- 28日(月) 全校朝会、メキシコタイム一斉授業(死者の日)